

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市成逸老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

方針：①事業所は要支援状態または要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。②事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。③上記のほか、「京都市介護保険法に基づく事業及び施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例（平成25年1月9日京都市条例第39号）」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年3月31日厚生省令37号）」を遵守する。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①通所介護計画の作成、利用者への説明・交付・同意と実施
②レクリエーションの提供及び入浴・排泄・食事等の介護並びにその他日常生活上の世話
③送迎サービス・健康チェック
④要介護状態等にある利用者に対して、個別の介護計画に基づくサービスを提供し、心身機能の維持・改善に努め、もって介護の軽減と日常生活の安定・向上を図る。
⑤施設内研修の充実
「法令遵守」「尊厳と職員倫理」「食中毒・感染症予防」「交通事故防止」「高齢者虐待・権利擁護・身体拘束廃止」「プライバシー保護・個人情報保護」「介護知識・技術」「レクリエーション」「PS・ソフト活用と情報管理」「リスクマネジメント」「メンタルヘルス」「腰痛予防」「ケースカンファレンス」「介護予防」等、新人・中堅職員育成研修等々を計画的に実施し、職員の専門性の向上を図る。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者1名 生活相談員 4名（内兼務3） 看護職員 3名 介護職員 9名（内兼務3）
事務員1名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数（実績値）

7272 人

(2) 実利用者数（実績値）

968 件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	66,021,822
利用料収入	5,640,159
委託料収入	0
補助金収入	1,953,000
寄付金収入	0
雑収入	727,530
その他	388,300
収入計	74,730,811

イ 令和2年度支出状況（単位：円）

人件費	59,517,093
事業費	11,026,282
委託費	7,331,472
小額修繕費	446,314
その他	6,148,741
支出計	84,469,902

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

サービス担当者会議や送迎時のご家族との情報交換の際に把握するとともに令和2年6月末現在、サービスを利用されている方を対象にアンケート調査を全利用者・家族向け実施して利用者の満足度の把握をしている。

(2) 利用者満足度把握の結果

施設利用者アンケート

* 入浴について：満足59.8%、やや満足14.0%、普通7.0%、やや不満2.3%、無回答6.9%
* 食事について：満足65.1%、やや満足9.3%、普通16.3%、やや不満2.3%、無回答7.0%
* 送迎について：満足79.1%、やや満足9.3%、普通4.7%、無回答6.9%
* 行事やレクリエーションについて：満足41.9%、やや満足18.6%、普通18.6%、やや不満7.0%、無回答13.9%
* 苦情や改善要望を行った時の当事業所の対応について：満足25.6%、やや満足4.7%、普通4.7%、その他58.1%、無回答6.9% * 当センターの設備について：満足58.1%、やや満足14.0%、普通16.3%、無回答11.6%
* 当事業所を利用して満足していますか？：満足79.1%、やや満足7.0%、普通9.3%、無回答4.6%

(3) 意見等への主な対応状況

利用者・家族のご意見を聴取し、個別ケアの希望として生かし、職員へは周知して改善するように取り組んでいます。結果は毎年広報誌・HPに掲載・センター内での掲示・報告書を閲覧できるよう情報公開しています。

7 その他特記事項

(1)

高齢者の尊厳、食中毒、感染症、法令遵守、災害時避難訓練などの研修を実施し、専門職の向上に積極的に取り組んだ。人材育成の為キャリア・職種ごとの研修を一体的に本部と一体的に計画・実施している。第三者委員の懇談会を実施し苦情・事故等の報告とご意見を頂きケアの質の向上に努めている。

(2)

新型コロナウイルス感染症対策の為、同一敷地内にある、北総合支援学校からの生徒の交流はリモートを利用して行った。看護師の在宅実習については感染症対策を行い時間短縮して受け入れた。ボランティアの受け入れは中止し情報共有のみ行った。令和3年1月に職員陽性者発生に対しては17日間休業をし感染対策を徹底し代替えサービスを行った。

8 評価（指定管理者自己評価）

事業の実績は前年度と同様維持しています。地域の施設として多くの相談者が来所されています。成逸センターは「人権の尊重」「地域密着」「自立支援」「公益性と透明性・誠実」「対等な人間関係・専門職集団」を基本理念とし、常に誠意をもって利用者一人ひとりの暮らしと意志を尊重し、認知症になっても、障害が生じて地域で安心して暮らし続けられるよう、北総合支援学校との交流・運営協議会の参加・地域包括支援センター開催の地域ケア会議への参加等、職員研修等に取り組んでいます。高齢施設として新型コロナウイルス感染拡大予防の為面会、外来者の訪問を中止、3密を予防する為の対策・消毒の実施等毎週感染会議を実施して新しい情報の確保・職員周知に努め、感染対策を継続して行っている。職員育成では高齢者虐待・権利擁護など障害を理由とする差別解消に向けた研修を定期的に行い、職員研修により理解を深めている。